

愛知県感染症情報

平成 13 年第 42 週（10 月第 3 週）

（コメント）

師勝保健所管内からの麻疹の報告数が多くなっています。注意してください。

（定点の先生方からのコメント）

- 尾張西部地区
 - ・ 流行性角結膜炎患者 ~12ヶ月男1名と20~29歳女1名は家族内感染と思われます。
（一宮市 ふなはし眼科）
 - ・ 病原性大腸菌感染者 O1 3歳女
インフルエンザ A 型（H3N2）1名、インフルエンザ A 型（H1N1）1名、他に B 型が 2人、パラインフルエンザ 型が 3人、まだまだ増加する可能性が高いです。
（尾西市 城後小児科）
 - ・ マイコプラズマ肺炎 32歳女
（西春町 田中クリニック）
 - ・ 乳児の無菌性髄膜炎が 2名ありました。
（稲沢市 稲沢市民病院）
- 尾張東部地区
 - ・ マイコプラズマ流行しています。（8月末よりずーっと）
病原性大腸菌 O1 1人、O18 1人。キャンピロ 1人。
（犬山市 武内医院）
 - ・ ムンプス、水痘続発中。手足口病がまたでてきました。
（岩倉市 医療法人なかよしこどもクリニック）
 - ・ A 群溶連菌、流行性耳下腺炎が少しみられますが、目立った感染症はありません。
（江南市 みやぐちこどもクリニック）
 - ・ 病原性大腸菌 O166 5歳女
マイコプラズマ肺炎 8歳男、13歳女
（瀬戸市 津田こどもクリニック）

- ・ 特定の保育園で手足口病が流行しています。
流行性耳下腺炎もまだ散発続いています。
マイコプラズマ感染症や乳幼児の細菌性下痢症が、少し目立ちます。
(尾張旭市 医療法人誠和会佐伯小児科医院)
 - ・ *Campylobacter jejuni* 感染症 71歳男。
(豊明市 豊明団地診療所)
 - ・ おたふくかぜが、東郷町で集団発生しています。
(東郷町 ホリバ医院)
 - ・ サルモネラ腸炎 O7群 7ヶ月男
(東海市 小児科ハヤカワ医院)
 - ・ 水痘とムンプスの小流行がつづいています。胃腸かぜ、やや増加してきました。
(春日井市 朝宮こどもクリニック)
 - ・ 5歳女児マイコプラズマ肺炎1例あり。
(春日井市 かちがわ北病院)
 - ・ マイコプラズマ感染多い。
(小牧市 小牧市民病院)
 - ・ 相変わらずマイコプラズマ肺炎が目立ちます。
(小牧市 志水こどもクリニック)
- 西三河地区
 - ・ マイコプラズマ肺炎 5歳男
(豊田市 やふそ小児科)
 - ・ 病原性大腸菌 O44 1歳男
カンピロバクター腸炎 9ヶ月女
(豊田市 星ヶ丘たなかこどもクリニック)
 - ・ マイコプラズマ 4歳、病原性大腸菌 O6・サルモネラ O4 7歳男、
病原性大腸菌 O6・サルモネラ O2 2歳男
(岡崎市 花田こどもクリニック)
 - ・ サルモネラ O4 10ヶ月男、病原性大腸菌 O18 7ヶ月女 VT1・VT2(-)
(岡崎市 にいのみ小児科)
 - ・ 病原性大腸菌 O1 1歳・4歳 VT(-)、病原性大腸菌 O6 4歳 VT
(-)
(幸田町 とみた小児科)
 - ・ マイコプラズマ肺炎 3歳男、7歳男
(三好町 三好町立三好病院)

● 東三河地区

・ 病原性大腸菌 O18 1歳男

病原性大腸菌 O166 疑い2歳

サルモネラ O9 11歳男、9歳男

10/15に確定してから、それ以後サルモネラは出ていない。

(豊橋市 医療法人こどもの国大谷小児科)

(1~3類感染症の発生状況)

報告はありません。

(全数把握の4類感染症の発生状況)

アメーバ赤痢患者1名。

梅毒患者2名

第40週(10月1日~10月7日)の4類感染症の全国状況

A群溶血性レンサ球菌咽頭炎は第34週より定点当たり報告数が増加傾向にあり、第40週の定点当たり報告数は、過去5年間の同時期と比べやや多くなっている。今後、年末・年始のピークシーズンに向け患者数の増加が予想される。流行性耳下腺炎の定点当たり報告数は、第19週よりここ10年間で最大の定点当たり報告数が持続している。流行性耳下腺炎の定点当たり報告数が多くなっているのは、石川県(7.0)、富山県(4.2)などである。流行性角結膜炎は宮崎県で定点当たり報告数9.5、鹿児島県で4.0と多くなっている。

(Infectious Diseases Weekly Reportより抜粋)

厚生労働省感染症研究所感染症情報センター感染症情報室提供)

ウイルス検査情報

平成 13 年度感染症発生動向調査のウイルス検査のために、県内 26 定点及び、豊橋市、豊田市の各 1 定点の医療機関から平成 13 年 4 月 1 日以降、現在(10 月 5 日)までに 375 名の患者の検体が当衛生研究所に搬入されました。現在も検査中の検体もありますが、現時点で同定できた結果を、ウイルス検出状況の速報としてお届けします。

主な疾患からのウイルス分離状況は以下の通りです。

1) ヘルパンギーナ

45 名の患者検体の検査を行ない、38 名からウイルスが分離されました。コクサッキー (Cox)A 群が多く分離されており、多い順としては CoxA8(12 名)、CoxA2(7 名)、CoxA4(5 名)、CoxA10、CoxA 5、CoxB 4(各 3 名)となっていますが、その他 CoxB3、CoxB 5、エコー-6(echo- 6)、アデノ 2(Adeno- 2)、Adeno- 3 が各 1 名から分離されています。

前回(8 月第 4 週報告)より CoxA8 が 8 名増えましたが、これまでに豊川(5 名)、豊橋(3 名)保健所管内からの検体から多く分離されていることから、主に三河地方で流行していると考えられますが、その他、豊田、刈谷、西尾、知多(各 1 名)保健所管内からの検体からも検出されています。

CoxA2 も前回までに検出されていた知多(4 名)、江南(1 名)保健所管内の他に、半田(1 名)、豊田(1 名)保健所管内からも検出され、CoxA2 によるヘルパンギーナの流行地域も広がっています。また、Cox. A4 は師勝(2 名)、江南(1 名)、豊田(1 名)、豊川(1 名)保健所管内の検体から検出されています。さらに、CoxA10 は江南(3 名)と安城(1 名)から、Cox A 5 は春日井(1 名)と刈谷(2 名)から検出されています。

2) 手足口病

手足口病との診断名で寄せられた 47 名の患者検体のうち、23 名の検体から CoxA16 が(他には Adeno2(2 名)と、Polio2(1 名)...ワクチン接種によるもの)検出され、前回報告数(15/40)より増加しました。検出時期は 4 月から 7 月に及びました。

3) 咽頭結膜熱

検体が寄せられた 22 名の患者のうち 16 名からウイルスが検出されましたが、そのうちの 15 名からは Adeno - 3 が、残り 1 名からは Cox. B 5 が分離されています。

また、Adeno - 3 は咽頭結膜熱患者検体以外にも、上気道炎(20/54)およ

び流行性角結膜炎(12/42)患者検体からの分離も増えています。 Adeno- 3 の流行は6月をピークに4月から8月まで流行が続いていました。

4) 無菌性髄膜炎

62名の患者検体の検査を行ない、23名からウイルスが分離されました。このうち echo- 6 が18名(78%)から検出されたことから、今年夏の無菌性髄膜炎の主な原因ウイルスは echo- 6 であったと考えられます。その他のウイルスとしては CoxB4、ムンプス、Adeno - 3 が各1名から分離されています。

また、無菌性髄膜炎からのウイルス分離率は37.1%(23/62名)と、前回報告の9%(5/55)と比較し大幅に上昇しました。

(注:分母の患者数は検査結果発表時点までに検体が搬入された患者数であり、従って今回の結果には、前回発表時に既に検体が搬入されてはいたが結果が出ていなかった検体の検査結果が含まれています。)

平成 13 年度感染症発生動向調査ウイルス検査情報(H13.10. 5)

表 1 疾患別ウイルス分離状況

	ヘルパンギーナ	手足口病	咽頭結膜熱	無菌性髄膜炎	急性脳炎	流行性角結膜炎	感染性胃腸炎	インフルエンザ	上気道炎	下気道炎	発疹症	その他	合計
患者数	45	47	22	62	1	42	20	20	54	17	5	40	375
Polio 2		1											1
Cox.A 2	7												7
Cox.A 4	5												5
Cox.A 5	3												3
Cox.A 8	12												12
Cox.A10	3								1				4
Cox.A16		23											23
Cox.B 3	1												1
Cox.B 4	3			1									4
Cox.B 5	1		1						4			1	7
echo- 6	1			18			1		3			1	24
echo- 9				1							1		2
Flu. B								12					12
Mumps Virus				1									1
Rota A GROUP							2						2
NLV G 2							1						1
Adeno- 1		2							1	1		1	5
Adeno- 2	1											1	2
Adeno- 3	1		15	2		12			20	1		2	53
合計	38	26	16	23	0	12	4	12	29	2	1	6	169

NLV G 2=Norwalk Like Virus Genogroup 2

太字は前月より増加した項目

表2 月別ウイルス分離状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	合計
患者数	37	67	131	92	30	18	375
Polio 2		1					1
Cox.A 2			5	2			7
Cox.A 4			4	1			5
Cox.A 5			1	2			3
Cox.A 8			8	4			12
Cox.A10			4				4
Cox.A16	3	2	14	4			23
Cox.B 3			1				1
Cox.B 4			2	2			4
Cox.B 5			6		1		7
echo- 6		2	8	13	1		24
echo- 9		1	1				2
Flu. B		12					12
Mumps		1					1
Rota A GROUP	1	1					2
NLV G 2			1				1
Adeno- 1	1	1	1	2			5
Adeno- 2			1		1		2
Adeno- 3	5	11	22	11	4		53
合計	10	32	78	41	7		169

NLV G 2=Norwalk Like Virus Genogroup 2

太字は前月より増加した項目